

太陽の塔の内覧について

	【案】	展示内容の変更(案)
整備イメージ		
審議に基づく設計の改定	<p>・企画展示室内に多くの展示を詰め込みすぎであるとの意見を受け、展示の内容を変更。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 展示の意図 生命の樹の理解を深めるために、博覧会当時のテーマ館などを解説。 2. 展示の内容 ①導入回廊 博覧会の写真を展示、天井の窓から塔を見上げる。 ②プロローグ展示：岡本太郎の太陽の塔の発想・創作の過程、当時の地下展示の様子などを模型、展示、映像により解説。 ③企画展示 ④生命の樹 ⑤空中展示：生命の樹を巡る階段に当時の空中展示の写真・解説文を設置。
整備内容	<ol style="list-style-type: none"> ①塔本体の耐震補強工事 ②最下層から上層まで「生命の樹」を鑑賞するため階段、エレベーターを整備。 ③出入口として、太陽の塔正面左側に階段、スロープ、外部エレベーター、塔右側に階段を整備。 ④最下層に展示室、事務室、WC等を増設。 	
整備費(見込み)	約9億円	
運営費(見込み)	約6千万円(年間)	
備考	◇展示の設計について再委託が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・『いのり』(地底の太陽)を復元。 ・紗幕スクリーンを設置し、当時の展示空間の情景を3Dで投影し、テーマ展示の世界観を伝える。 ・当時の仮面や神像を展示。